



梅雨とは思えない暑さ

はじめとした梅雨に、今年はさらに暑さが加わって
過ごしにくい毎日となっております。

冷房をセーブしすぎず、水分補給をしっかりと、
体調には十分お気をつけください。

ご意見・ご質問・ご感想・家づくりに関するお悩み等
ありましたら、お気軽にお寄せ下さい。

FAX受付 054-636-2674
E-mail受付 info@kata-ken.co.jp

- 片山茂夫の声
- 現場最前線
- なるほど辞典

今月のトピックス

代表者 片山茂夫の声

暑い6月が過ぎ、まだ梅雨明けにはなっておりませんが、7月に入ってもなお暑い日が続いております。
気温30℃を軽く越えて35℃になる日が続いていますが、これから7月・8月とどれほどの暑さになるか心配なところ。1日を過ごすのに、大変な体力を使う毎日です。みなさまも日射病にならないように気をつけて過ごして下さい。

毎日、東日本大震災のことがニュースに出てきます。一度は行ってきたいと思っていながらも日程が取れずにはいきましたが、104日目に水道工事をしている(株)勝栄の会長と2人で、2日間の日程で視察に行ってくることができました。天気は予報では曇りから雨となっておりますが、2日間うす曇りの天気です。暑さも無く行って来れました。

6月24日に藤枝駅を出発し、東北新幹線の仙台駅に午前11:05頃着きまして、予約をしてありました駅前レンタカーを借り、各地を見れるだけ見てみようとの思いで2日間見て廻りました。

(右上に続く)

まず仙台空港南の亘理町から岩沼市、そして仙台空港に寄り、名取市、塩釜市、石巻市まで見て廻りました。2人から出る言葉は「すごいなー、すごいなー・・・」ばかり。だいぶ瓦礫も片付いてきているなど感じられました。そして、津波により被災した場所は人が全くいなかったことが印象に残っています。人がいても瓦礫を片付けている地元の建設業者さん位で、その人数よりも交通整理をしている人の数の方が多い。なんだか復興を目指しているのがこんなスピードで良いのか心配になりました。

TVで津波の凄さを見た映像が頭に入ってしまったので、もっと広い範囲かと思っていましたが、宮城県の海岸沿いの一部の地域が津波の被害に遭われたのだと、少し頭を切り替えることにしました。

津波のことばかり先に入ってしまうのですが、地震の被害で倒壊した建物は一切みられませんでした。瓦屋根の棟瓦の一部がずれていたり、瓦屋根の一部がずれている位で、地震により傾いた家や倒壊などもみられませんでした。築30年位の建物は、地震には安心できるのかなと思いました。

津波の現場でもしっかりした木造住宅は流されずに残っている建物もありビックリしたくらいでした。そして鉄筋コンクリートの建築物などはしっかりと残っていました。初日は石巻で6時近くになり、泊まる場所を予約していなかったものですから、(どんな行程になるかわからないもので)地元で聞いてみましたが、ビジネスホテルなど泊まれる所はありませんとビジネスホテルの経営者の方に教えられました。一瞬、泊まることのできるのか心配になりましたが、持参した宿泊施設の資料にあった秋保温泉、川渡・鳴子温泉などのホテル・旅館なども満室で困りました。仙台駅周辺ならビジネスホテルがたくさんあるだろうからと戻ることになって、約1時間半かけて三陸自動車道路を戻りました。仙台駅周辺で聞いても、空いているビジネスホテルは全くありませんでした。7~8件直接看板を見てホテルカウンターで聞いてもまったく空いていませんでした。(株)勝栄の中村会長とどこか居酒屋で一杯やって、駐車場に車を停めて車の中に泊まろうという話になりましたが、会社でインターネットで調べてもらい、20:30頃ようやく仙台駅から10分ほどの所にあるビジネスホテルがとれてホッとしました。名称は丘のホテルでした。

25日(土)の夜、居酒屋で一緒になりお話しをした方から津波の被害の一番ひどい仙台市の荒浜地区を見ていただきたいと聞いていたので、朝一番はそこに行くことにしました。26日の行程は陸前高田市まで見に行くことにしていただきましたので、朝一番にホテルを出て荒浜地区を視察しました。他の見学者もいましたが、やはり被害がすごかったです。荒浜地区を見て、バイパスで仙台東部道路経由で東北自動車道に入り一関インターまで行き、一関インターから陸前高田市へ11時頃着きました。

瓦礫を片付けているボランティアグループを見つけ、その所の所有者とお話することができました。建材の卸売りをしていた経営者の方でした。その方は資材が8000万円~9000万円分流失され、鉄骨の倉庫300坪も一瞬に流されたとのこと。チリ沖地震の津波も経験しているので、今回の地震の時は親の教え通り、地震のあとすぐに避難したので命は助かったとおっしゃっていました。その方は、私達に津波の高さなどを教えて下さったり、いろいろ説明していただきまして親切にしてくれたことが印象に残りました。御夫婦で元気に後片付けをしておりましたが、この地点が海岸から5.4kmということでした。

それから車を移動して海岸に近づくと、橋の高さが10m位ある橋のらんかんが津波に倒されており驚きました。やはり陸前高田市はすごい被害だと思いました。前日に見た津波の被害の倍以上のすごさを感じました。だいぶ瓦礫は片付いていましたが、陸前高田病院が目に入ってきましたので近くまで行き、病院の中まで見させていただき、その凄さを改めて感じました。

(裏面に続く)